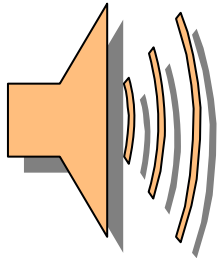


<矢澤企画 P a r t 2 >



公開質問コーナー

「無駄」と「贅沢」に関する公開質問への回答

Tomy Jr.

私は「無駄」と「贅沢」の違いとは「+αの価値を認めるかどうかの違い」だと思います。つまり何らかの資源（資金、材料、労力、時間、神経、才能など）を必要な水準以上（+α）投入した場合において、その価値（+αに見合う価値）があったと思われる部分は「贅沢」となり、価値がなかったと思われる部分は「無駄」になると思うのです。この考え方を基に下記の質問に回答します。

- ・動物に無駄と贅沢があるのだろうか？
- ・猫が日向でうとうとしている。あれは無駄か贅沢か？
- ・メタボに悩む猿がいると聞く。その猿は贅沢三昧の生活を送ったのだろうか？

Tomy Jr.

これは「誰にとって」の無駄や贅沢かによって違うと思います。「動物自身にとっての無駄と贅沢」という視点であれば、動物自身に「価値を認めるかどうか」聞いてみなければ、果たして無駄や贅沢があるのかどうか分かりません。

猫の例は「日向でうとうと寝ている」ことを猫が価値を認めてやっていたら「贅沢」でしょうし、することがなくて仕方なくしているなら「無駄」でしょう。

猿の例も、メタボになるような食生活に猿自身が価値を認めて選択的にしていたのなら「贅沢」の結果でしょうし、生きるために食べていただけなのに結果的にメタボになったのなら「無駄」でしょう。

「人間にとっての無駄と贅沢」という視点であれば、猫や猿にそういうことをさせることが人間にとって価値があるかどうかという視点です。

猫の例であれば、その猫と人間の関係によって異なりますが飼い主が「うちの猫が日向でうとうとしている姿を見るのは癒される」という価値を見出せば「無駄」ではないでしょうが、ネズミを退治するために飼っている猫なら「そんなことしている時間があつたらネズミを捕まえて来い」ということになって「無駄」だと思うでしょう。

猿の例も、もし動物園の猿であつて「メタボな猿が話題で観光客が増えて儲かる」という価値があるなら「無駄」ではないでしょうし、逆に死なない程度の食事を与えておけば充分だつたに余計にお金をかけて栄養過多でメタボにさせたなら「無駄」でしょう。

yuko

動物にとって贅沢な事は、人間の取り方によっては無駄に値する。

人間が与えている動物にとって贅沢と思う事は動物にとって無駄だ・・・と思う。

猫が日向でうとうとする。暖かい場所でゆったりと毛繕いをする。このような時間は一見無駄な時間を過ごしている様で、猫にとっては贅沢、かつ重要な時間。それを無駄ととらえるのは人間の心の有り様による。

人間が良かれと思っている、可愛いデザインの洋服や、かぶり物、素晴らしい動物部屋の環境。そんな物は動物達にとっては無駄でしょうねえ。

Cacco

我が家のライ隊員がうとうと寝ている姿を見るにつけ、幸せそうにしてくれてとてもうれしくなる。(ライ隊員は猫じゃなく犬だけど) たぶんライも気持ちがいいからよく寝られるのだと思う。危険は微塵もなく、飼い主との信頼関係がある(みたいに見える)。よって猫(犬)にとっても、それを眺める人間にとっても贅沢な時間なのではないかしら。

メタボに悩む猿がいると聞く。その猿は贅沢三昧の生活を送ったのだろうか？

地球上には飢えている子供もいるのに贅沢なもんだなあと思うかも。でも猿はメタボを悩んでるんだから贅沢とは考えてないんじゃないかしら。贅沢の果てって感じかな。

- ・ 安酒を飲むのと大吟醸酒を飲むのでは贅沢の度合いが違うのだろうか？
- ・ 贅沢にもランクがあるのか？
- ・ 安酒を飲むのは贅沢とは言わないのか？言わないとすればどうしてか？

Tomy Jr.

私はお酒を飲めないので想像になりますが、その人が「お酒のランクに価値を認めるかどうか」でしょうね。

「私がお酒であれば、安酒も大吟醸も同じ」という人であれば、その両者の価値は同じなのでそんな人にとっては高いお酒を飲むこと自体が「無駄」となりますが、大吟醸は安酒よりも価値があると思っている人には「贅沢」に値するでしょう。

そして、そもそもお酒を飲むこと自体は生活上の必要を超えて価値があると思っている人には安酒を飲むのも「贅沢」になりますが、お酒を飲むのは生きていく上での最低限必要な範囲だと思っている人には「贅沢」にならないでしょう。

Yuko

気分かな？良いお酒を飲むときと、安いお酒を飲むときの気持ち。ではやはり贅沢度は違うと思う。雰囲気も大切で、安いお酒でも雰囲気(使う器や肴)によって充分贅沢を味わえるとも思う。

Cacco

贅沢にランクはないと思っています。体のために医者から断酒を命じられている人にとっては安酒も超美酒。その人それぞれの立場での分以上のものが贅沢。

- ・文化は贅沢から生まれる。観光名所の殆どが贅沢が生んだものだ。文化と贅沢の本質的つながりはどこにあるのだろうか？

Tomy Jr.

抽象的かつ不明確な質問なので回答も抽象的になってしまいますが、「贅沢」が包含している「必要以上の価値」の部分に「文化」的価値も含まれているということでしょう。

Yuko

文化という随分広い範囲があると思うが、日本人の好む侘び寂びなどを表したり、もちろん、一般人の考えられない程の贅沢の粋を凝らしているものに接すると良き時代の贅沢だなあと思うし、必要な贅沢もあると思う。

Cacco

でも贅沢が生んだ文化でない文化もある。たとえば70年代の新宿西口地下街フォーク集会とか、やはり新宿で花開いた状況劇場とか。地べたを這って生まれた文化みたいに思える。だから贅沢が時に文化を生むこともあるってことではないかと思う。

・ジョギングの不思議

家から1kmほど離れた公園へ良くジョギングに行く。池をまわる形で一周600mのジョギングコースがあつて、水鳥などを見ながら走ると気持ち良い。その公園へ行く道が問題だ。ついつい無駄のないように近道をしようとしてしまう。おかしいことだ。どうせ公園をぐるぐる回るなどというのは無駄に限りなく近い。遠回りかも知れないが普通の道を通って、公園を回る回数を減らせばいいのに。そう思いながら、また今日も近道をしてしまう自分が不思議でならない。

Tomy Jr.

これは「池をまわること」自体には移動行為という必要以上の価値があると思っているので時間をかけたり労力を傾ける価値を感じるが、「池に行くこと」自体には移動という必要以上の価値がない（つまり必要最低限の範囲内）だと思っているので出来るだけ時間も労力も省略したいと思うためでしょうね。

もし、池に行くまでにジョギングすることも「健康に価値アリ」と思えば、きっと同じように歩くでしょう。

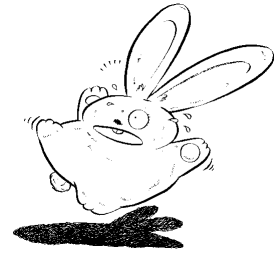
yuko

ジョギングが無駄と考えない人ならば、その場所へ行くまでの距離を短く考えるのは当然だと思います。時間を有効に使う事とジョギングで汗を流す事は別の物だと思います～

Cacco

え～と公園へ入ってからがジョギングの開始だからではないですか？目的地に向かうために近道に行くのはとっても自然な行為じゃないかと思います。

うさおの 無駄と贅沢考



このテーマは好きだなあ。今号企画「ファッション」の続きになるが、作業服で新幹線に乗ったら、指定席ではなく自由席だろうと…。飛行機ならファーストクラス、Jクラスに座っちゃだめで…。身分相応ということではなく、状況に合った選択以外は、それは無駄なのではないのかと…。一汁一菜で済むのに、さらに冷や奴とお新香を頼むのは無駄というもの。あれ、これは贅沢の範疇かな。マグロの刺身を食べるのに備え付けの醤油だけでは飽き足らず、マヨネーズを持ってこいというのは、これは贅沢というもの。

無駄というのは他人に気を配って用意したものが、過剰にあって消費しきれない時に言うのだと思う。気を配らなければ、それは節約という言葉に変わる。自分だけの場合は消費できるかを考えながら頼むので、余りモノが出ないのだ。つい気が大きくなったときに「何でも良いから頼みなさい。」というのは贅沢だ。言った直後から、後悔をする。(駄目だぞ、なんでも頼んじゃ、3000円までがうさおの贅沢なんだから…メニューを見るな！おれの眼を見ろ、なっ、なっ、言わずとも大人なんだから判るだろう…。だから、メニューを捲るな！それは高い種類の処だぞ。)「まあ、時には君らにも贅沢というものを味わって貰わなくちゃねえ。わっはっはっ……。」(とほほほ……)

贅沢とは物事に凝った時にも発露するね。不必要に高性能、高機能にすることだね。以前にトマソン号3号車の不必要な装備について書きました。これは贅沢の部類ですよ。自動車はトランスポーターだって割り切っている人には判らない、特別な感情を掻き立てられるものなんですよ、ねっ、機械フェッチだと言うジンジンさん(由佳さんのだんなさんです)。世界に冠たるトヨタ、ニッサン、ホンダがあるのに欧州車に切り込んでいるのは、やはり日本の国情を思うと贅沢としか思えませんな。

パジェロに乗っていたとき、リアデフロックを付けましたが一度も使う局面は無く、泥水のところに行ってはスイッチを入れて見ました。それどころか、センターデフロックのLL四駆も10年間乗っている中で数回です。それを使わないと車がそこから抜け出せなかったかと言うとそんなことはありません。気分ですよ、気分。贅沢というのは…。

うさおはパソコンも贅沢(無駄?!)しちゃってます。使いもしない機能を満載しています。クラウドコア、8スレッドのCPUなんて性能をフルに使う機会なんてありませんよ。

うさおのノートパソは、intel i5搭載のwindows 7(64bit)マシンだ。ハードディスクではなくSSD256GBだ、メモリーも8GB搭載している。しかも2.53GHzで市販モデルよりCPUのクロックが速いのだ。特注品だからね。だが、見た目は普通のノートパソと変わらない。だから贅沢は気分なんだ。えっ、それを無駄っていうんですか？無駄と贅沢って本当によく判らないなあ。主観的と客観的という問題ではなさそうだな、自分に使うのを贅沢、他人に使うのを無駄って括りじゃ、やっぱりだめですかね。